

錦江に生きる

にしゅういちにん日

ありま ともあき
有馬 智彰さん

(木場自治会)



▲注文のあった合鍵を慎重に作製する智彰さん

▼あまりの忙しさに電話三件を同時に應對!?



このコーナーでは、町内でこれから根を張っていこうと頑張っている若者を中心に紹介していきます。
第21回目は、木場自治会の有馬智彰さんです。

「いやあ、写真撮んなら言っくんきゃーヒゲ剃ってへるんだったのに」ヒゲがトレードマークの有馬智彰さんの第一声だった。ヒゲの無い智彰さんを見たこと無いんですが？と返すと、「二十年以上ヒゲと付き合ってるからね」今回の取材はこんな会話から始まった。

智彰さんは大根占地区でカー用品の卸販売業を営む二代目。高校卒業後、2年間修行を積み家業を継ぐために帰ってきた。現在は智彰さんと妻・恵理子さん、母・ヨミ子さんと従業員2名で15年前に他界した父・正美さんの残した会社を守っている。お父さんの代から何か変わりましたかと不躰な質問をすると「お客さんあつての仕事だからね。基本的には親父の代から変わらない。うちを利用してくれるお客さんを大切に守ることが基本。変わったことは油圧ホースの移動サービスを始めたことかな」と自慢のヒゲを撫でた。智彰さんと話していると、常にお客さんのことを第一に考え、大切にしていることがヒシヒシと伝わってくる。

趣味はなんですか、と尋ねたら「野球にソフト、後は年数回だけと相撲と柔道の大会に出るよ。」とスポーツマンらしい答えが返ってきた。ちなみに柔道は本人曰く「構え八段、実際一段」らしい…。さらに「構え八段の俺くらいになると四十肩も気力で治しちゃったよ。」と豪快に笑った。智彰さんは、地域活動にも積極的で、様々な行事に参加し盛り上げている。商工会でも青年部の役員を歴任し、現在はオブザーバーとして縁の下から支えており、地元でも青年部でも頼りになる役員分である。

仕事に興味に地域活動にと多忙な智彰さんだが、疲れないのか尋ねてみると、「それほど疲れないよ。疲れたら子供たちと行きつけのお店で夕食を食べるんだ、そうすると疲れが一気に吹き飛ぶよ」と優しく微笑んだ。

最後に一言お願いすると、「仕事も遊びも地域活動も全部同じ。周りの人たちに楽しんでもらい満足してもらうことが自分のモットー。これからもお世話になっている人たちが地域に感謝しながら、そして錦江町が盛り上がりつついっくように自分なりに頑張っていきたい。」と照れ笑いを浮かべた。

智彰さんは魅力いっぱい、元気いっぱいヒゲのお兄さんだった。

錦江町

おもいで写真館

撮影年月日不詳

大橋上自治会付近を走る路線バス
(大根占地区)

▶ 写真のご協力をお願いします。◀

「錦江町思ひ出写真館」に掲載する写真を募集します。

撮影時期・場所・状況等を付けて、役場企画課へ持ち込むか郵送ください。

お借りした写真は責任を持ってお返しします。

